

アトツギ×サッシン 伴走支援プログラム

アトツギ・サッシンベンチャーの新事業への挑戦を支援！

FUKUOKA
アトツギ

若手後継者が
家業の経営資源を
活用して新事業に
挑戦する中小企業

FUKUOKA
サッシン

第二創業など
新分野に挑戦する
中小企業

STEP1

ベースプログラム

7月上旬募集開始予定



アトツギの
アイデア具体化を支援



サッシンの
アイデア具体化を支援

STEP2

ジャンププログラム

5月15日（金）募集開始



アトツギ・サッシンの
新商品の開発支援



アトツギ・サッシンの
新サービスの開発支援

主 催



福岡県



グローバルコネクト福岡ネットワーク

後 援



福岡銀行



西日本シティ銀行

お問い合わせ

福岡県商工部スタートアップ推進課（TEL:092-643-3591）

アトツギ・サッシン
ポータルサイト



プログラム参加者の声

① 参加のきっかけ・理由 / ② 参加して良かったこと / ③ 参加を考えている方へのコメント

R7ベースプログラム 参加

小倉 知子さん

IKILUKA (久留米市)
代表 **ササシ**



- ①販路拡大や増収増益の対策に行き詰っていたタイミングで、何かヒントが得られるかもしれない & 常々ネットワークを域内 (久留米界隈) から広げたいと考えていたため参加しました。
- ②得たかったヒントを得られたこと & 新商品の企画についてピッチ登壇にて今後の商品開発に活かせるさまざまなフィードバックを得ることができたことです。
- ③現状打破したい、何か新しい風を吹かせたい、そんな方、一歩踏み出してみると面白い景色が広がっているかも！意志と行動あるのみ、です！

R7ベースプログラム 参加

大竹 美典さん

キャンピナービス株式会社 (福岡市)
取締役副社長 **アドジグ**



- ①知人が関連プログラムに多数参加していたため、参加を決めました。
- ②自分自身・自社・業界について、改めて深掘りできたこと、アトツギの友人がたくさんできたこと、漠然と考えてきたやりたいことが言語化できたことです。
- ③どんな業界・状況下でも、強みや打つ手があります。自社と自分を俯瞰して見ることができる素敵なプログラムだと思いますので、ぜひ飛び込んでみてください。

R7ジャンププログラム 参加

古賀 雄大さん

古賀金属工業株式会社 (八女市)
代表取締役社長 **アドジグ**



- ①事業構想大学院大学の先輩が前年度に同プログラムに参加していたことから興味を持ち、紹介頂きました。構想していたものを実際の商品開発を通じてトライしたかったため参加しました。
- ②期限が決まられていて、最終的なMakuake出展という出口があり非常に良いプログラムだと感じました。講師陣も魅力あふれる方が多く思考の幅が広がりました。
- ③大変ですが、それ以上に頑張ったら得るものがあります！チャレンジしましょう！

R7ジャンププログラム 参加

安永 翔太さん

株式会社ヤスナガ (柳川市)
取締役 **アドジグ**



- ①アトツギ甲子園決勝大会に出場することで、新規事業を加速させたかったからです。
- ②始めはニッチな商品でしかなかった新商品が、これから始まる大きな挑戦の第一歩だと確信できたことです。事業計画を作り、壁打ちして作り直して、また壁打ちしての繰り返しでどんどん見える世界が変わっていきました。
- ③家業でやりたいことがある人は絶対に参加した方がいいです。こんなにアトツギのことを本気で考えてくれるプログラム他にはないです。必ず自分にしかできないことに気づけると思います。

R7ジャンププログラム 参加

野口 莉加さん

アールウェディング株式会社 (北九州市)
代表取締役 **ササシ**



- ①新事業の準備を進めていた時期に、福岡県からのメルマガで本プログラムの情報を拝見し、内容がまさに自分のニーズに合致していたため、すぐに参加を決めました。
- ②第三者からの客観的な意見を得られ、自分では気づけなかった視点を取り入れることができました。また、期限が設定されていたことで、事業を前に進めるスピードが格段に上がりました。
- ③仲間と共に学べる熱い環境があり、他社の事例から得られる気づきも多く、安定したモチベーションで取り組める点が魅力です。着実に前へ進みたい方にとって、有意義な機会になると思います。

R7ジャンププログラム 参加

大瀬 太郎さん

株式会社FUTOIKKU (福岡市)
代表取締役 **ササシ**



- ①新サービスや新規事業を起こす学びを社内に入れたかったこと、私が和歌山県の旅館の出自ということもあり、家業や地場の企業様と知り合い、事業に熱い方々と知り合いたったためです。
- ②事務局の伴走支援により、自社の課題や狙っていたことを様々な角度から多面的なアドバイスを頂けた点が参考になりました。
- ③参加は、絶対した方がいいのはもちろんのこと、勉強しようというよりも、結果を出そうという姿勢で取り組まれると最大限の成果につながると 생각합니다。